

# 公海の持続可能な ガバナンスを目指して

～課題解決のための一つの取り組みに参加して～

2014年9月26日  
明治大学国際総合研究所 特任教授  
川口順子

# GOC（世界海洋委員会）とは

発足：2013年2月12日



世界海洋委員会

海洋の悪化に歯止めをかけ、海洋の完全なる健全性と生産性を取り戻すための、国際的なリーダーをメンバーとする独立した団体。

ビジネス・リーダーや開発の専門家に加え、元国家元首、元外務大臣、元財務大臣を含む卓越した政治家等が世界中から参集（GOC HPより）

# GOC（世界海洋委員会）とは

## 使命

公海が直面する以下の重要問題に対処するために、政治的・技術的に実施可能な短期、中期、長期の勧告を策定すること。

- ①過剰漁獲
- ②生息環境と生物多様性の喪失
- ③有効な管理と強制力の不備
- ④公海ガバナンスの不備

# GOC（世界海洋委員会）とは

## GOCのねらい

（2014年9月から始まる）「第69回国連総会（2014-2015）の期間中に、国連海洋法条約の実施協定の策定に関する決定を含め、公海の海洋生物多様性の保全と持続可能な問題に緊急に取り組む」予定となっている。  
（リオ+20合意文書「The Future We Want」条文162より）



国連海洋法条約の下に、公海の遺伝資源をめぐる法的枠組みを策定することを確実にするための働きかけを行う



6月24日に、「劣化から再生へ～世界の海洋のレスキューパッケージ～」という報告書を発表

# 人類にとって海とはなにか？



海洋漁業と養殖は、数百万人もの人々に生活手段を提供している。また、数十億人もの人たちに食料を提供している。

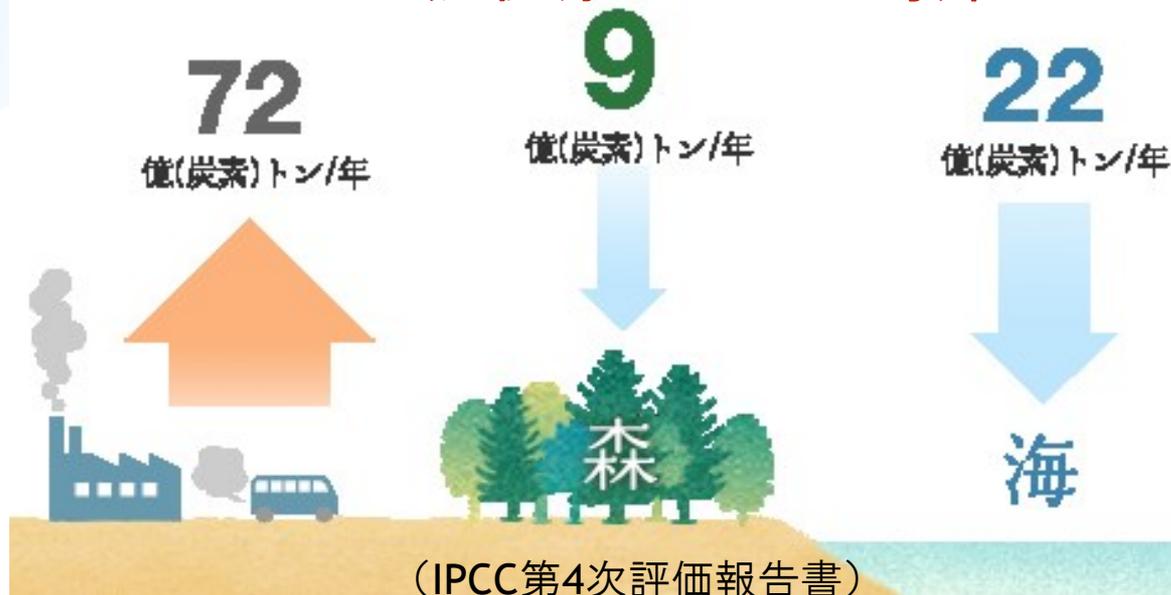
# 人類にとって海とはなにか？



海は世界で単一のものとしては**世界最大の生態系**を形成し、地球上のすべての生命を支える中心的な役割を持つ。人間の健康、社会、経済を直接的に支えるサービスと資源を提供している。

# 人類にとって海とはなにか？

## CO<sub>2</sub>吸収源としての海洋



人間が呼吸する酸素のほぼ半分を生産し、  
人間が排出する二酸化炭素の1/4以上を吸収

温室効果ガスによって地球上に蓄えられた熱の  
90%以上が海洋に貯蔵される

# 問題の認識



**60年後には、日本近海では造礁サンゴが全滅する可能性がある。**

# 問題の認識

## ①資源への増大する需要

- ・ 2011年11月で世界人口は70億人に。
- ・ 海洋漁業の漁獲量は、3百万t（1900年）から80百万t（現在）。  
※うち87%が過剰漁獲、満限までの漁獲ないし涸渇。
- ・ 主要漁場17のうち15が、満限ないし涸渇の水準まで漁獲。
- ・ にしん、さば、いわし等餌となる魚が減少。食物連鎖への影響大。
- ・ 原油、天然ガス、鉱物資源への需要が増大。  
例) 銅の需要は1960年代に比べ4倍になり、スマートフォンにも  
欠かせないレアアースの需要も急増。

# 問題の認識

## ①資源への増大する需要

遺伝資源の重要性に対する認識と需要の高まり



生物多様性条約に定める ABS の基本的なルール

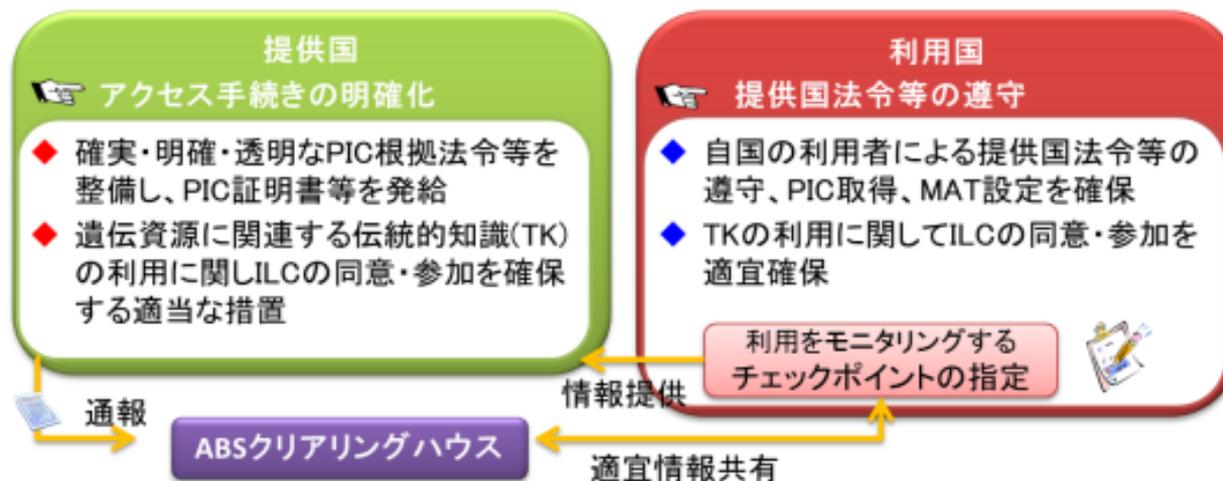


図 5 名古屋議定書の概要

# 問題の認識

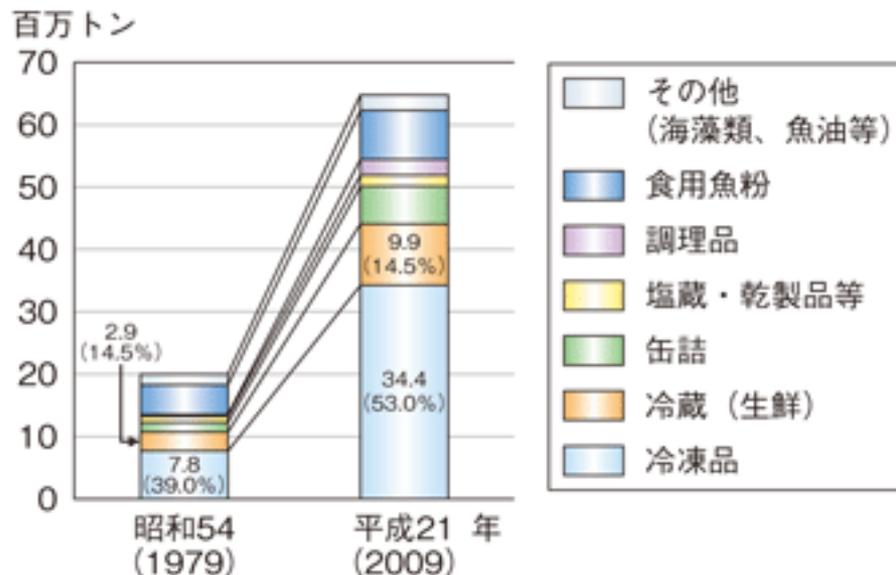
## ②技術の進歩

- ・ 原油の1/3は海底から。時には3km以上深いところから。
- ・ ISAの探査許可は13か所、100万km<sup>2</sup>に及ぶ。
- ・ 漁船もより強力なエンジンや冷凍設備をもつ。  
底引き網⇒2200mの深さまで。はえ縄⇒60kmまで。
- ・ 分子生物学等の発展を受け、海洋遺伝資源の利用の高まり。

# 問題の認識

## ②技術の進歩

### 世界の品目別食用水産物貿易量の推移



平成25（2013）年3月に開催されたボストンシーフードショーに出品されたアラスカ産マダラの商品サンプル。米国産の輸入原料を中国大連市の工場にフィレーに加工した商品を米国に売込み。

# 問題の認識

## ③ 漁業資源の減少

### 船の過剰漁獲能力による漁業資源の減少

#### ◎ 漁船の増加

※ 中西部太平洋の大型巻き網漁船は、10年前の200隻未満から、現在では約300隻。

#### ◎ 最先端のソナーや集魚装置（FAD）の搭載

#### ◎ 漁船の大型化

※ 世界の漁船のエンジン出力総量は1950年代以来10倍に増加

# 問題の認識

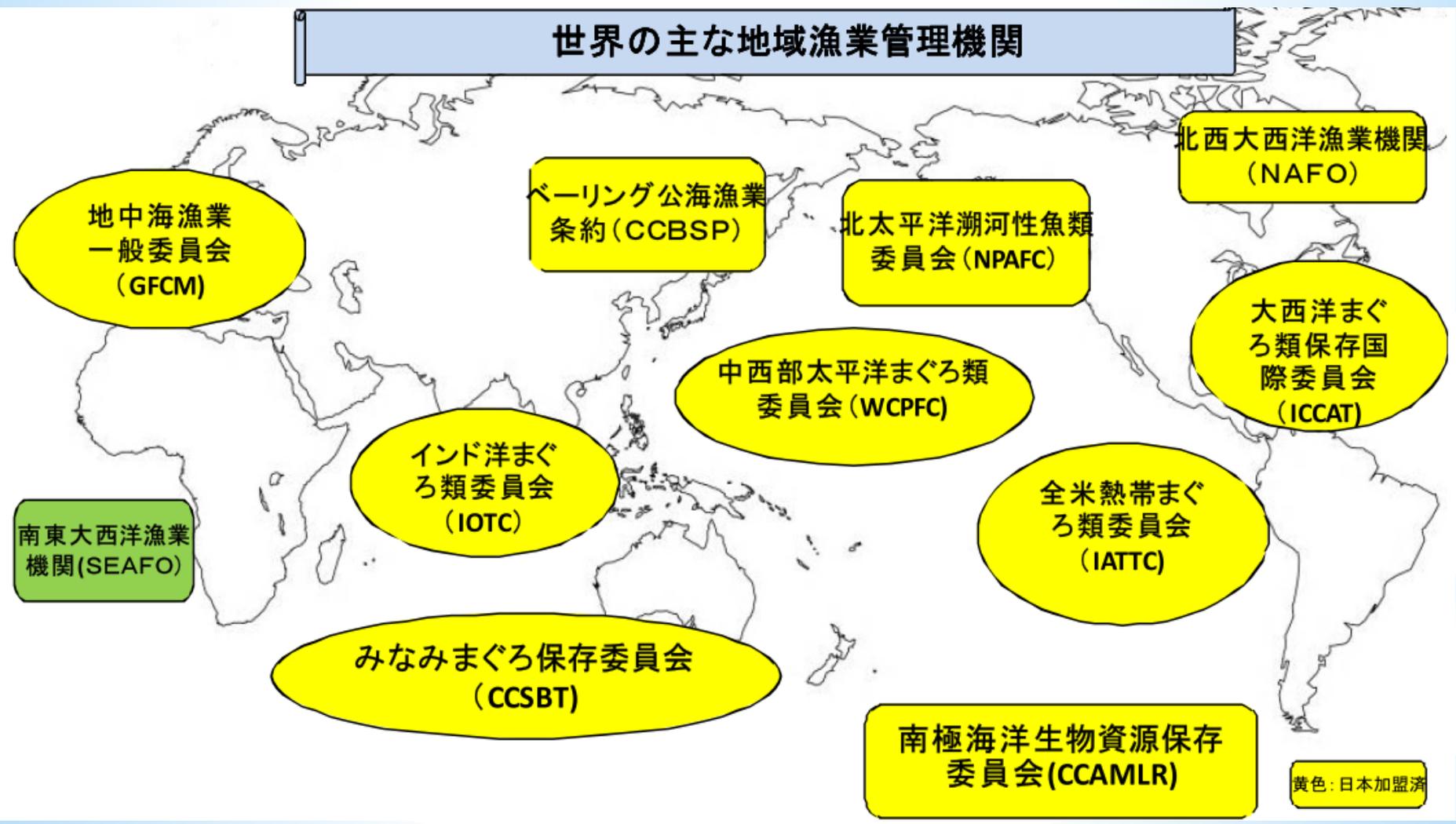
## ③ 漁業資源の減少

### IUU（違法、無報告、無規制）漁業

- ◎IUU漁業は、公海で年間12.5億ドル、全体で100～235億ドルの経済規模にのぼると言われている。
- ◎違法、テロ活動との結びつき
- ◎**RFMO**（地域漁業管理機関）が的確に機能していないことが大きな原因の一つ

# RFMOとは . . .

「広範囲に回遊するかつお、まぐろ類等について、ある一定の広がりを持つ水域の中で、漁業管理をするための条約に基づいて設置される国際機関」（外務省HP）



図表：外務省HPより引用

# 問題の認識

## ③ 漁業資源の減少

### 過剰な漁獲能力を生む補助金

- ・ 補助金なしでは利潤を生まない公海漁業。
  - ・ 各国の補助金総額は300億ドル/年に達し、その60%は持続可能でない漁業に使われている。  
※日本、中国、米国、EUが多い。
  - ・ 市民は魚に対して2度支払う。1度目は納税者として、2度目は消費者として。
- ⇒ 結果として、船の過剰漁獲能力、IUU漁業につながっている。

# 問題の認識

## ③ 漁業資源の減少

### クロマグロの資源管理の失敗

- ・ 太平洋クロマグロの資源量は、かつての漁獲量のわずか4%
- ・ 境港では、大間1年分を超えるマグロを、巻き網を使って1日で水揚げ⇒大間や壱岐では150kg以上のマグロはほぼ獲れない状況
- ・ 農水省は日本海における産卵期の成魚の総漁獲量を制限するとHPに記載。しかし制限値は実際の漁獲高の倍以上。（形だけの規制）
- ・ 先進国（OECD加盟国）では日本だけ漁業が衰退。

# 問題の認識

## ③ 漁業資源の減少

### クロマグロの持続可能な漁獲管理にむけた取り組み

- ・ 8/28、ピュー・チャリタブル・トラストのアマンダ・ニクソン氏が、9/6福岡にて開催された、北太平洋海域のマグロ類の資源管理について協議する「中西部太平洋まぐろ類委員会」の小委員会に合わせ、外国人記者クラブにてプレスリリース

⇒未成魚の漁獲量を02～04年の平均漁獲量の50%に削減することを提案

⇒それにより産卵資源量が10年で4倍になることを示唆



9/6「中西部太平洋まぐろ類委員会」小委員会（韓国、米国、カナダ、台湾などが参加）にて、**未成魚の漁獲量を02～04年の平均漁獲量の50%に削減**することが合意された。

## 問題の認識

### ④気候変動、生物多様性の減少と生息地の破壊

- ・ 海洋酸性化が過去 3 億年間になかった速度で進行。
- ・ 気候変動への適切な対応がなされない限り、2050年までに60%の海洋生物種が絶滅との予測あり。  
※酸性化、海水温上昇、貧酸素化の3つの要因による。
- ・ 80%の海洋汚染は陸由来。  
※肥料、殺虫剤、下水、ゴミ、プラスチック、放射性等の物質、石油等から。

# 問題の認識

## ④気候変動、生物多様性の減少と生息地の破壊

### 海洋酸性化問題

海面におけるpH変化（1986～2005年平均と2081～2100年平均の差）

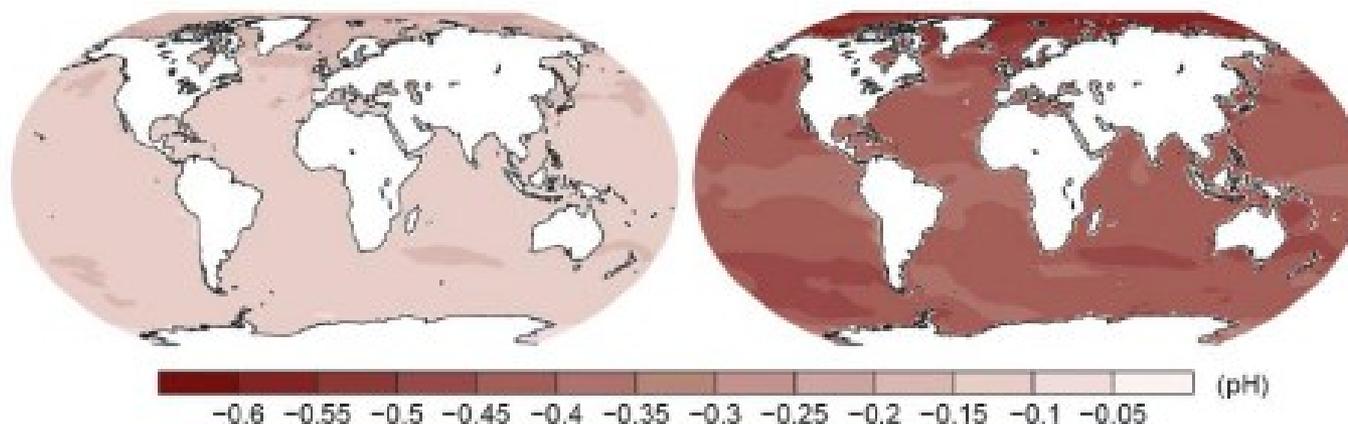


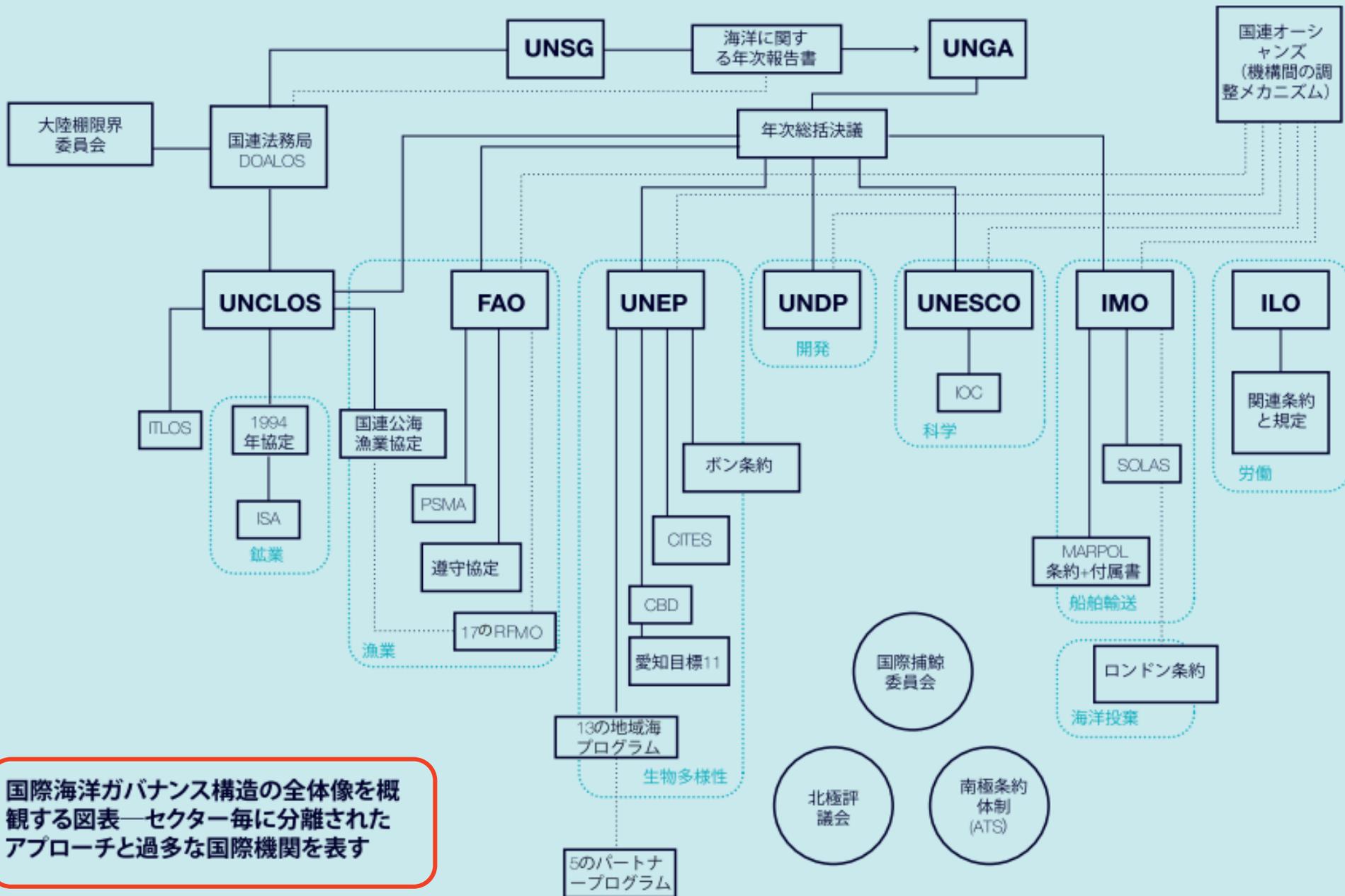
図 8 海面における酸性度の変化(IPCC第 5 次評価報告書 WG1 報告書より)

国連教育科学文化機関（ユネスコ）などをつくる地球圏—生物圏国際協同研究計画（IGBP）などによる海のpHの将来予測。2100年には北極域でかなり酸性化が進むことが分かる。

# 問題の認識

## ⑤脆弱な公海ガバナンス

- ・ 海洋は統合的に管理されていない。  
漁業、貿易、海底採掘の管理は別々。
- ・ 「エコシステムアプローチ」、「予防的アプローチ」、「汚染者負担」の原則が取り入れられていない。
- ・ 同じRFMO（地域漁業管理機関）において、マグロは対象にしても、混獲されるサメは対象にしないなど、まちまち。また、意思決定がコンセンサス方式なので、合意しにくい。
- ・ RFMOは加盟国のみ拘束し、違法漁船を停船させる権限もない。



## 問題意識の特徴

- 海を統合的に管理する必要のある、一つのシステムとしてとらえるべき。
- 公海のガバナンスは不適切であり、海洋が窮状にある原因。人類の生存にかかわる問題。
- 現在技術や資金を持つものの自由になっており、次世代や発展途上国の権利が守られていない。衡平性に欠ける。
- 国連海洋法条約で加えられた「公海の自由の原則に一定の制約を」との流れをさらに推し進めるものと考えられる。

## 回復の推進方法①

海洋の国連持続可能な開発目標を策定し、  
新たなミレニアム開発目標の中心に。

- ・ 詳細な目標
- ・ 明確な指標

## 回復の推進方法②

**公海の統治：ケアと回復を促進する。**

- ・ 公海生物多様性に関するUNCLOS実施協定
- ・ 既存の協定の普遍化と迅速な実施
- ・ パフォーマンス改善の為のRFMOの定期的第三者評価
- ・ 国連海洋特別代表のポスト
- ・ 国家海洋特使、または大臣のポスト
- ・ 地域海洋管理機関(ROMO)

## 回復の推進方法③

ノーマア乱獲：補助金を廃止する。

- ・ 漁業補助金の完全な透明性
- ・ もっとも有害な漁業補助金の区別
- ・ 公海漁業への燃料補助金の凍結と5年以内の段階的廃止。

## 回復の推進方法④

違法・無報告・無規制漁業（IUU漁業）  
⇒海、港、市場を遮断する。

- ・ 公海で操業するすべての漁船にIMO  
ナンバーの取得を義務化。
- ・ 洋上転載の禁止。
- ・ 公海漁業協定の批准と実施
- ・ 違法な漁船の船籍の剥奪、寄港拒否、  
漁獲物の水揚げ禁止 等

# 回復の推進方法④

米国における  
市場（消費者・サプライチェーンチェーン）側の取り組み事例

代表的な「シーフード・ガイド」

Monterey Bay Aquarium  
**Seafood Watch**



シーフード・ウォッチ  
(モントレー水族館)



フィッシュ・ウォッチ  
(アメリカ海洋大気庁)

**BLUE OCEAN INSTITUTE**

*Inspiration, Information, Action*

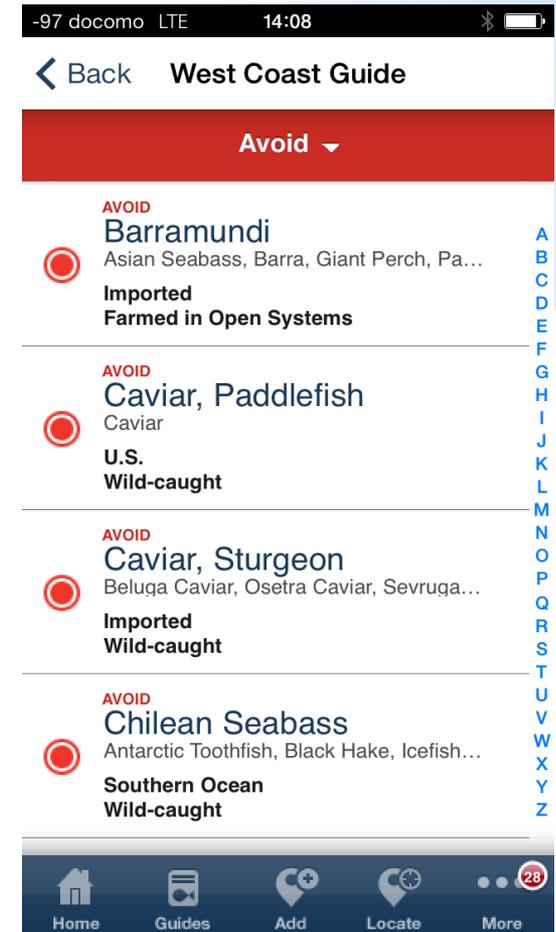
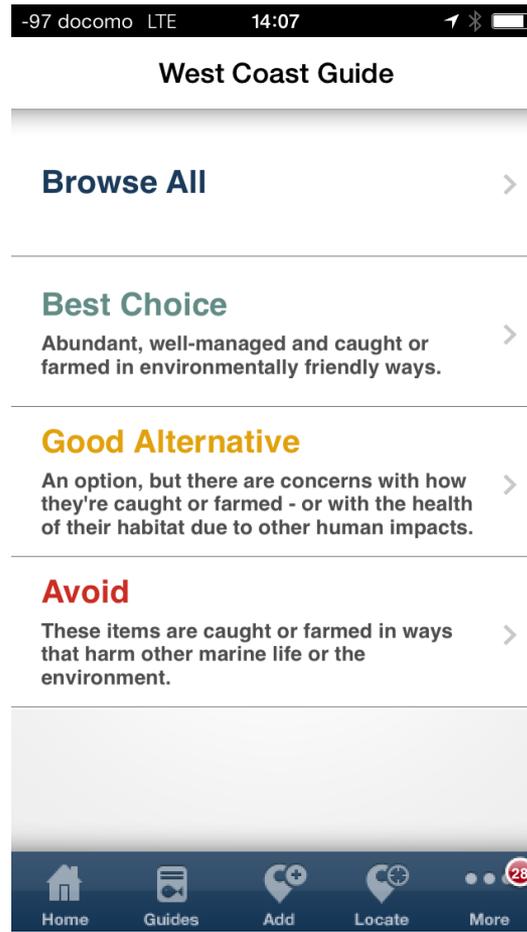
「シーフード・ガイド」 「スシ・ガイド」  
(BLUE OCEAN INSTITUTE)



Finding the ways that work

シーフード・セレクター  
(環境防衛基金)

# Monterey Bay Aquarium 'Seafood WATCH'



## 回復の推進方法④

米国における  
市場（消費者・サプライチェーンチェーン）側の取り組み事例

代表的なサプライチェーンの取組事例



Whole Foods



Safeway



Aldi



Ahold USA Retail



Darden Restaruants

## 回復の推進方法⑤

### プラスチック：海洋への流入を阻止

- ・ 政府、民間、市民社会間の協調
- ・ 陸上汚染源
- ・ 海上汚染源（人口集魚装置など）

## 回復の推進方法⑤

漂着ゴミを宝に変える「宝の島プロジェクト」



## 回復の推進方法⑥

### 海底石油とガス

⇒ 法的拘束力のある国際安全基準と  
法的責任の導入

- ・ 法的拘束力のある安全環境基準
- ・ 普遍的な法的責任規定
- ・ 対応準備と能力構築

## 回復の推進方法⑦

世界海洋アカウンタビリティ委員会

⇒健全な海洋への進捗状況をモニタリング

- ・世界海洋委員会の提言の実施状況を評価
- ・その情報を市民社会と共有

## 回復の推進方法⑧

### 公海再生ゾーンの創設

⇒ 5年間十分な行動がとられなければ、  
産業漁業を禁止する。

- ・ 公海再生ゾーンにおける産業漁業の禁止
- ・ RFMOの取り組みが効果的である場合、  
その海域は除外
- ・ 世界海洋委員会の提案が実施されれば  
解除

ありがとうございました